

平成28年10月14日（金曜日） 午前9時30分 開議

1. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
日程第2 会期の決定について
日程第3 平成27年度半田常滑看護専門学校管理組合歳入歳出決算の認定について

2. 出席議員は次のとおりである（8名）

常滑市議会議長	相	羽	助	宣
常滑市議会副議長	成	田	勝	之
常滑市議会議員	加	藤	久	豊
常滑市議会議員	都	築	周	典
半田市議会議長	澤	田		勝
半田市議会副議長	久	世	孝	宏
半田市議会議員	鈴	木	好	美
半田市議会議員	山	本	佳	代子

3. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

管理者	半田市長	榊	原	純	夫
副管理者	常滑市長	片	岡	憲	彦
半田市健康子ども部長		折	戸	富	和
常滑市病院事務局長		山	本	秀	明
会計管理者	半田市 会計管理者	伊	藤	浩	卓
半田常滑看護専門学校	副校長	倉	内	敏	江
半田常滑看護専門学校	事務長	林		雅	彦
半田常滑看護専門学校	副主幹	木	原	和	幸
半田常滑看護専門学校	主査	有	松	洋	子

○議長（澤田 勝議員）

みなさん おはようございます。

定刻になりましたので、ただいまから平成 28 年第 4 回半田常滑看護専門学校管理組合定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は、8 名です。

定足数に達しておりますので、ただちに本日の会議を開きます。

議事日程に入ります前に、組合管理者から挨拶の申し出がありますので、これを許します。

○管理者（半田市長 榊原純夫）

改めまして、皆さま おはようございます。

本日は、平成 28 年第 4 回半田常滑看護専門学校管理組合議会の定例会の開会にあたりまして、議員の皆さまにおかれましては、大変ご多用のところ、ご出席を賜り、心より感謝申し上げます。

また、日ごろは、当組合の運営に格別のご理解とご指導を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

それでは、去る 6 月 15 日開催の当組合議会以降の本校の状況につきまして、ご報告を申し上げます。

まず、8 月 25 日に看護学校体験入学を開催いたしましたところ、主に高校生を対象にしておりますが、142 名の方の参加があり、校内の見学、看護実習体験、在校生との懇談会などを行いました。

また、就職や進学、授業料や修学資金などの学校生活全般に関する相談ブースにも、本校への入学を意識された多くの質問が寄せられ、看護師に対する興味や、関心の高さを感じ取ることができました。

10 月 6 日木曜日には、中部国際空港 消火救難・救急医療活動総合訓練が、18 時から 20 時までの夜間訓練として実施をされ、本校から 1 年生、2 年生が参加をいたしました。

本校の特徴でございます災害看護の一環でありまして、学生は、飛行機の乗客及び家族役として負傷などのメイクをし、迫真の演技で訓練を盛り上げたところであります。

また、10 月 17 日の月曜日には看護宣誓式を挙行いたします。

入学し半年が経過する 1 年生 42 名が、看護の道に進む自覚を新たに、「誓いの言葉」を力強く宣誓をいたします。

議員各位におかれましては、ご多用のこととは思いますが、是非ご出席を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

さらに、11 月 12 日には、学校祭として、オープンキャンパスを実施いたします。今年のテーマは、「つながる絆と看護の愛の手 ～深めよう地域との輪～」でござ

います。また、健康チェック、リラックス体験、献血、骨髄バンクの登録、例年好評であります模擬店やバザーなど、看護学校ならではの企画を予定いたしております。こちら、是非、お越しいただき、学生の活動をご覧くださいようお願いいたします。

結びに、本日、お手元に、学校案内及び来年度の学生募集要項を配付させていただきました。

試験日は、推薦入学試験及び社会人入学試験を11月5日、一般入学試験を年明けの1月16日に予定しております。

身近な方で、看護師を志望される方がございましたら、是非、本校をお薦めくださるようお願いを申し上げます。

報告は以上でございますが、本日ご審議をいただく議題につきましては、「平成27年度決算の認定」を、お願いいたしております。

よろしくご審議のうえ、適切なる認定を賜りますようお願いを申し上げ、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（澤田 勝議員）

これより 議事に入ります。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりですので、よろしくお願い申し上げます。

『日程第1』会議録 署名議員の指名についてを行います。

議長において、加藤久豊議員、鈴木好美議員を指名します。

○議長（澤田 勝議員）

『日程第2』会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

今期定例会の会期は、本日1日としたいと思います。

これに ご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。

よって今期定例会の会期は、本日1日と決定しました。

○議長（澤田 勝議員）

『日程第3』認定第1号を議題とします。

当局の提案説明を求めます。

○事務長（林 雅彦）

ただいまご上程賜りました、認定第1号、平成27年度半田常滑看護専門学校管理

組合歳入歳出決算について、ご説明させていただきます。

決算の認定については、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、監査委員の意見を付して、議会の認定を賜りたいとするものであります。

別冊の歳入歳出決算書の 1、2 ページからお願いします。

平成 27 年度半田常滑看護専門学校管理組合歳入歳出決算は、歳入の予算現額 1 億 6,419 万 6 千円に対し、収入済額合計 1 億 6,420 万 4,153 円で収入率としましては、概ね 100%、収入未済額は 0 円、歳出の支出済額は 1 億 6,058 万 6,321 円で歳出の執行率は 97.8%、不要額は 360 万 9,679 円となりました。

3 ページをお願いします。

歳入歳出差し引き残額は、361 万 7,832 円となりました。

内容につきまして、事項別明細書により説明いたします。

決算書の 5、6 ページをお願いします。

歳入のうち、1 款 1 項 1 目分担金、1 節学校管理費分担金の収入済額 1 億 2,981 万円は、毎年 5 月 1 日時点の半田市、常滑市等に在住する学生数の割合で算出し、半田市及び常滑市の負担額は、備考に記載のとおりでございます。その負担割合は、半田市が 42 名で、72.80%、常滑市が 13 名で、27.20%でありました。

次に、2 款 1 項 1 目 1 節手数料の収入済額 2,702 万 5 千円は、備考欄に記載のとおりで、受験料 224 万円は、受験料が 1 名 10,000 円で 224 名分、入学金 260 万円は、入学金が 1 名 50,000 円で 52 名分、授業料 2,218 万 5 千円は、授業料が 1 名年間 18 万円で 124 名分であります。なお、年度途中の退学者等があり、納付月数では、延べ 1,479 月分となっております。

つづきまして、3 款 1 項 1 目 1 節繰越金の収入済額は、前年度繰越金で、337 万 7,784 円となりました。

4 款 1 項 1 目 1 節雑入の収入済額 399 万 1,369 円につきましては、備考欄に記載のとおり、自動販売機設置場所貸付料始め 16 の諸雑入です。主なものにつきましては、備考欄の最下段、再・追試の試験料 24 万 3 千円は、1 科目 1,000 円で 243 件分です。

7、8 ページをお願いします。備考欄の最上段、年間教材費 248 万円につきましては、1 名 2 万円の年間教材費でございます。

次に歳出の主な内容につきまして、ご説明いたします。

9・10 ページをお願いします。

1 款 1 項 1 目議会費の 1 節、報酬の支出済額 31 万 8,250 円は、議員報酬 8 名分です。

2 款 1 項 1 目学校運営費の 1 節報酬は、管理者、副管理者の特別職報酬となります。また、2 節給料、3 節職員手当等及び 11、12 ページをお願いします。4 節共済費は、職員給として、事務職員 3 名、教務関係職員 11 名分の給料等となっております。このうち、前のページの 3 節職員手当等、備考欄最下段の退職手当 1,051 万 8,338 円は、専任教員 3 名の自己都合退職に伴う退職手当支給によるものです。

11、12 ページをお願いします。7 節賃金の支出済額 647 万 2,355 円については、臨時職員延べ 5 名分の賃金です。8 節報償費の支出済額 576 万 8,795 円は、備考欄に記載のとおりで、主なものとして、講師料 548 万 5,795 円は非常勤講師延べ 149 名分

の講師料です。

13、14 ページをお願いいたします。10 節交際費 1 万 7,280 円につきましては、本校非常勤講師にご不幸があったため、生花一对を供したものです。

11 節需用費 1,081 万 1,632 円のうち、修繕料 267 万 98 円につきましては、エレベーター修繕、自動扉修繕など、24 件の修繕を実施しました。

12 節役務費の 75 万 1,631 円のうち、15、16 ページをお願いいたします。

最上段に記載の特別管理産業廃棄物処理手数料 18 万 7,920 円につきましては、現在使用していない水銀血圧計の処理費用になります。

13 節委託料 1,032 万 8,742 円の主な内容につきましては、学生健康診断委託料、施設清掃、施設設備の保守点検委託及び実習委託となっております。備考欄中段に記載の実習委託料 288 万 6,200 円は、半田病院や常滑市民病院などにおける学生の実習に対する委託料です。

下から 3 段目、講義委託料 277 万 1,890 円につきましては、市立半田病院、常滑市民病院の医師等による講義委託料でございます。

17、18 ページをお願いいたします。

14 節使用料及び賃借料 428 万 710 円の主なものとしましては、備考欄中ほどの情報科学実習室パソコン借上料 187 万 3,326 円は、情報科学実習室における学生の授業用パソコンの借上げ料として、また、中段下あたり、教育用機器借上料 87 万 1,920 円は、教育用機器として高度救命処置トレーニング機器 1 台と心電図計 2 台の借上料でございます。

15 節工事請負費 84 万 8,988 円につきましては、2 階屋上他防水塗替工事を実施し、施設の保全に努めました。

18 節備品購入費の支出済額 270 万 2,760 円の主なものは、教育用機器として、装着型摘便シミュレーター 1 台、片マヒ体験スーツ 1 台、19、20 ページをお願いいたします。その他、記載によります交換用皮膚 5 個や、看護実習室に配置する電動ベッド 7 台の購入費等でございます。

最下段をお願いいたします。

2 款 2 項 1 目監査委員費の 1 節報酬 46,200 円につきましては、監査委員報酬 1 名分です。

21、22 ページをお願いいたします。

3 款 1 項 1 目予備費については、執行、充用はありませんでした。

なお、25 ページは、実質収支に関する調書で、実質収支額は 361 万 7,832 円となりました。

27、28 ページは財産に関する調書で、記載のとおりでございます。

決算の状況は以上でございます。

次に、別冊の「平成 27 年度決算に係る主要施策の成果報告書」について、簡単に説明いたします。よろしくをお願いいたします。成果報告書 3 ページをお願いいたします。

平成 27 年度決算の総括における、対前年度増減率は、(2) の表に記載のとおり、歳入歳出とも、それぞれ 4 % 増となり、増額の主な要因は退職手当の増など学校運営費の増によるものです。

4ページをお願いいたします。

(1) 教育目的・教育課程につきましては、地域住民の保健、医療、福祉に貢献できる有能な看護師を育成するため、記載の教育課程に基づく教育の実施を行いました。

(3) 学生の状況につきまして、平成27年度の入学生は、定員1学年40名中、40名が入学し、4月1日現在の在學生は125名で、その後2名が年度中に退学となりました。退学理由は、進路変更によるものです。

5ページをお願いいたします。

平成27年度の看護師国家試験の状況は、中段の表のとおりで、卒業生43名が受験し、全員が合格し、合格率は100%でありました。なお新卒者の全国合格率は94.9%でした。

卒業生就職先の平成27年度の状況は、下段の表に記載のように、就職先が半田病院は26名、常滑市民病院が8名の計34名で、卒業生数43名に対して、両病院への就職率は79.1%でした。なお、就職者数39名に対しては、87.2%となりました。

6ページをお願いいたします。

(4) 平成27年度に実施した、入学試験の状況については、記載の表のとおり、推薦、社会人、一般入学試験を合わせて、応募者は224名、合格者は90名としましたが、一般入学試験の併願受験もあり、実際の入学者は42名となりました。

なお、平成25年度、26年度で実施しました一般入学試験の第2次試験につきましては、27年度は定員確保ができたため、実施しませんでした。

(5) 学校行事については、6ページ以降に記載のとおりでございます。

看護宣誓式を始め海外研修、1年生病院見学、看護学校体験入学、災害訓練、次のページに記載の学校祭等を実施いたしました。

7ページをお願いいたします。

緊急津波避難訓練は、平成23年度から5回目の実施となりました。本校を始め近隣の東保育園及びつくし学園は、海岸近くで標高の低い地域にあり、大地震による津波到達前に安全に避難することは、重要な課題であり、両園の園児の安全避難誘導のために、本校の教職員と学生による園児の避難誘導訓練を実施し、本校3階の実習室等を避難場所としました。なお、今年度につきましては、10月27日（木）午前に実施予定でございます。

以上で、簡単ではありますが、提案説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（澤田 勝議員）

説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ご質疑ありませんでしょうか。

○久世孝宏議員

専任教員3名が自己都合退職されたということだが、理由は把握しているのか。

○事務長（林 雅彦）

理由の把握はしています。1名は看護の現場に戻りたいという理由、1名は自分を

見つめ直したいという理由、もう1名につきましても、現場に戻りたいということでした。

○久世孝宏議員

学校の教員数自体が少ないのに、一度に3名が退職ということで、授業等は大丈夫なのか、影響は出ないのか。この事態にどのように対応したのか。また、今後の対策は。

○事務長（林 雅彦）

昨年度退職した3名の正規教員からは、年内に退職の意思表示があり、急きょ、年明けに採用試験を行い、3名の採用を決定しました。教員の人数としては揃いましたが、キャリアの面では、やはり新人ということで、不慣れな部分が多く、経験を積んでいるところであります。

今後の方策ですが、教員の安定的な確保は、学校の運営にとって大変重要なことでもあります。現在、両母体病院との間で、看護師を教員として派遣していただく方法について検討しているところです。また、教員のモチベーションの維持、労働条件の改善などを図るため、給与面で何か考慮する方策はないか、検討しております。

○議長（澤田 勝議員）

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありませんので、討論を省略し、採決します。

本案は、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。

よって、認定第1号は原案のとおり認定することに決しました。

これにて、今期定例会に付議された事件はすべて終了しました。

よって、平成28年第4回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会を閉会します。